

農業由来カーボン・クレジット（Jクレジット）制度の活用開始 ～環境に配慮した農業を推進する生産者様と共に持続可能な農業と食の未来を創る～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋）は、農業由来のカーボン・クレジット（Jクレジット※1）制度を活用し、環境配慮型農業に主体的に取り組む生産者の皆様に応援する取り組みを2025年度より開始いたしました。

本取り組みでは、Jクレジット制度における方法論の一つである、「水稲栽培における中干し期間の延長※2」により創出されたクレジットの活用を進め、水田から発生するメタン排出の削減と、農業の「環境価値」を経済価値へつなげることで、生産者様の新たな収入機会の創出と、持続可能な農業の実現に貢献してまいります。

※1 J-クレジット制度

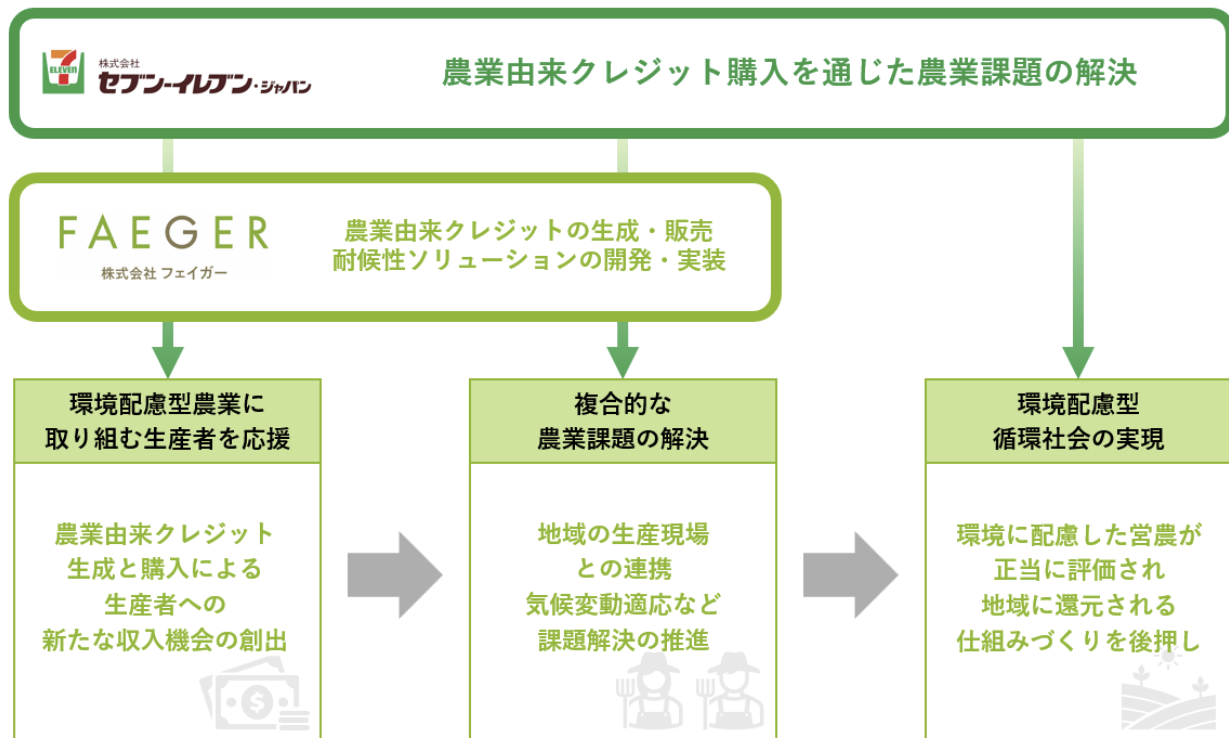
省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用、適切な森林管理、農業での取り組み等によって削減または吸収された温室効果ガスの量を、「クレジット」として国が認証する制度。

※2 水稲栽培における中干し期間の延長

水稲栽培では、水田が長期間にわたって水で満たされるため、土壌中の酸素が少ない環境となり、この環境では、微生物が有機物（稲わらや肥料など）を分解する過程で、温室効果ガスであるメタン（CH₄）が生成される。

中干し（水抜き）は、出穂前に一度、水田の水を抜いて田面を乾かすことで成長を制御するもので、水稲栽培において一般的に行われる工程であるが、これはメタンの生成を抑える効果もある。

この中干しの期間を過去2カ年の平均より7日間以上延長することで、メタンの排出量を3割削減し、その削減量分を「クレジット」として認証を受けることができる。



■ 取り組みの流れ

本取り組みでは、生産者様がJ-クレジット制度の「水稻栽培における中干し期間の延長」という方法論に基づき、温室効果ガス（メタン：CH₄）の排出削減量として2024年に認証を受けたクレジットを当社が2025年に購入。これにより、生産者にとっては新たな収入源が確保され、農業を担う人材の確保や設備導入等の営農基盤の強化につながります。また、カーボンニュートラル推進にも寄与することから、「経済的安定性」と「環境保全性」の面から、持続可能な農業の実現・食糧安全保障など持続可能な農業と食の実現に貢献できるものと考えております。

なお、取り組みにあたっては、農業由来カーボンクレジットの創出を通じて生産者の持続的な農業経営を支援し、環境配慮型農業の普及を行う株式会社フェイガー（本社：東京都千代田区、代表取締役：石崎 貴紘）と連携しております。

■ 取り組みの背景

日本の農業は、担い手不足や収益性、気候変動対応といった複合的課題に直面しています。当社は、商品調達・物流・店舗運営などのバリューチェーン全体で環境負荷低減を進めるとともに、地域の生産現場と連携し、「環境に配慮した営農が正当に評価され、地域に還元される」仕組みづくりを後押しします。この限りある資源や環境をただ消費するだけでなく、再び新しいなにかに再生していく、「環境配慮循環型社会」を目指していきます。

■ 農業由来Jクレジットの概要

対象：水稻栽培など農業活動

削減対象ガス：主に水田由来のメタン（CH₄）

創出の考え方：営農手法の改善（例：中干し期間の延長）による排出削減量を「クレジット」として認証

■株式会社フェイスについて

株式会社フェイスは、農業由来カーボンプレジットの生成から販売までを一貫して手がけるスタートアップです。生産者との協働により脱炭素農業の収益化を支援し、気候変動に適応する「耐候性ソリューション」の開発・実装を通じて持続可能な農業体系の構築を目指しています。本取り組みにおいてはプロジェクトの運営・支援を担います。

※画像はイメージです。

※情報は現時点でのものです。